

操作 順序	操 作 内 容	確 認 事 項	操 作 場 所	確 認
6	S/C ベントラインのラインナップを行う。 (1) S/C ベント弁用空気ポンペ出口弁 (MO-283) 全開 (2) INBD SUPPR CHMBR VENT VALVE (AO-205) 全開	Ⓡ点灯, Ⓞ消灯 #	AM. PNL 9-3	
7	S/C ベントを開始する。 (1) PCV ベント弁 (MO-271) 25%調整開 a. 弁開度確認不可の場合は、インチング操作で8秒間開とする。(フルストローク 30 秒) (ラプチャーディスク破裂圧力: 427kPa) b. 格納容器圧力が急激に下降したら、負圧にならないように PCV ベント弁 (MO-271) を全閉する。	Ⓡ点灯, Ⓞ点灯 現場弁開度計 D/W 圧力計 PI-172 S/C 圧力計 PI-176 (D/W・S/C 圧力 記録計) (FR/PRC-16-105)	AM. PNL AM. PNL # 925	
8	格納容器圧力が上昇する場合は、PCV ベント弁 (MO-271) を全開する。 格納容器圧力が 13.7kPa 以下になる場合は S/C ベントを停止する。 (1) INBD SUPPR CHMBR VENT VALVE (AO-205) 全開 (2) S/C ベント弁用空気ポンペ出口弁 (MO-283) 全開 (3) PCV ベント弁 (MO-271) 全開 尚、それ以前に緊急時対策本部の判断により全閉とすることがある。	Ⓡ点灯, Ⓞ消灯 D/W・S/C 圧力記 録計 FR/PRC-16-105 Ⓞ消灯, Ⓞ点灯 # #	AM. PNL 925 9-3 AM. PNL #	
9	ベント操作中に RHR 系が復旧した場合は、格納容器圧力が抑制できる段階で、S/C ベントを停止する。 *停止操作は操作順序8と同様。			
10	ベント操作後は、格納容器内の水素酸素濃度の監視を頻繁に行う。格納容器水素濃度が 10% に到達した場合は、PCV 圧力が 106kPa 以下 (FCS 運転時の制限圧力) であることを確認して、FCS を起動する。 FCS を起動後は、EOP「格納容器制御」(PCV 水素濃度制御) に従い、水素濃度を制御する。	CAMS 水素濃度 10% 以上かつ 酸素濃度 4.5% 以上	CAMS PNL FCS PNL	
11	本操作中、S/C 水位が S/C ベントノズル水没水位 4470 cm (LI-16-174) まで上昇した場合は、S/C ベントを中止して、2-3-2 項 D/W ベント操作に移行する。 (1) INBD SUPPR CHMBR VENT VALVE (AO-205) 全開 (2) S/C ベント弁用空気ポンペ出口弁 (MO-283) 全開 (3) PCV ベント弁 (MO-271) 全開	Ⓞ消灯, Ⓞ点灯 # #	9-4 AM. PNL #	

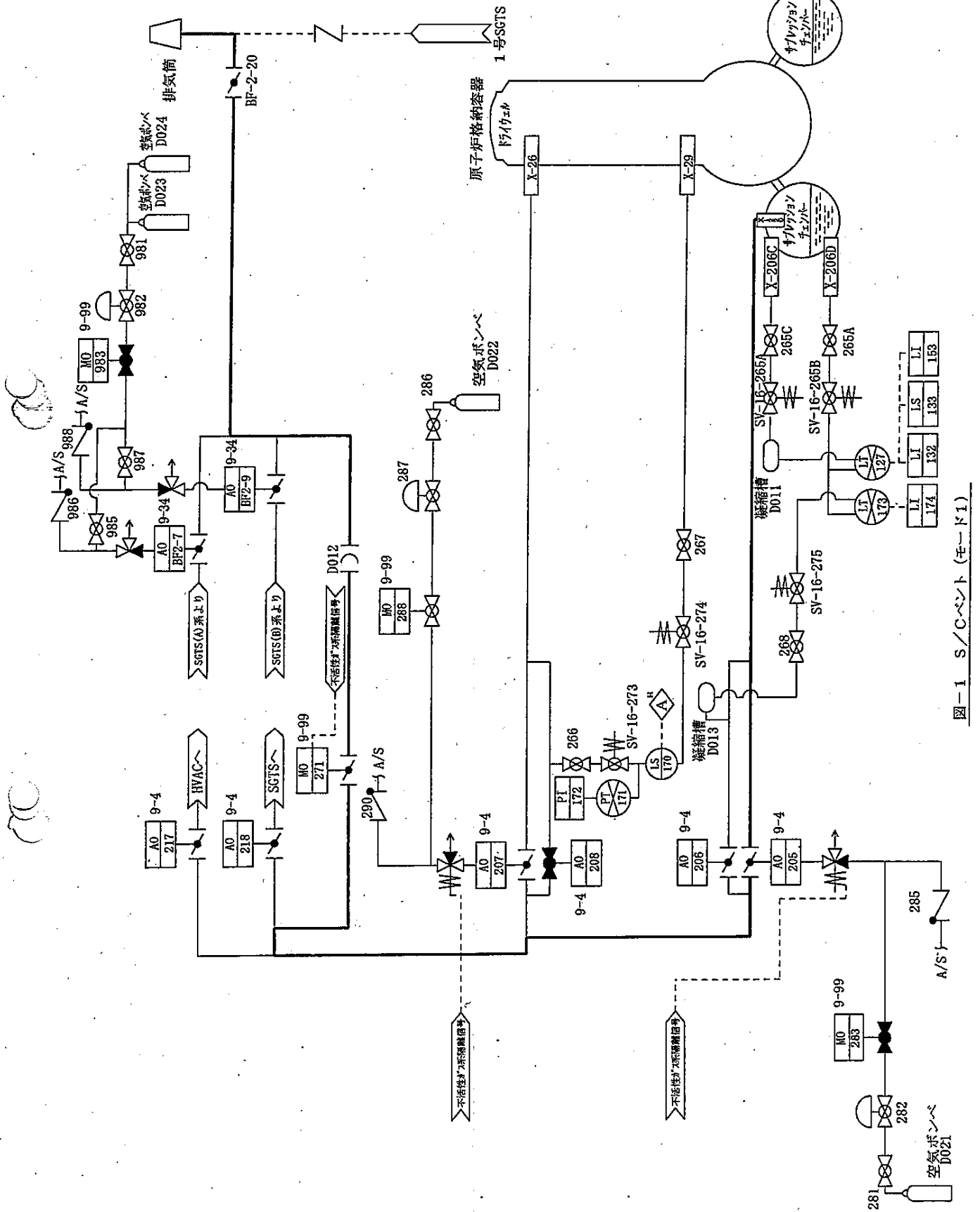


図-1 S/Cベント(モ-F1)